

「多職種“ごちゃまぜ”研修会」 in 松本

日時：平成 30 年 7 月 28 日（土） 13:00～16:30

会場：信州大学松本キャンパス旭総合研究棟 AB 講義室（9 階）（松本市旭 3-1-1）

対象：学生（医学科・保健学科・他）、保健・医療スタッフ（看護師、保健師、OT/PT/ST、医師、薬剤師、MSW、栄養士、放射線技師、他）、介護スタッフ（ケアマネージャー、介護福祉士、他）、事務スタッフ、他 施設・職種を問いません

基調講演・グループワーク指導：

宮崎大学医学部地域医療・総合診療医学講座 教授 吉村 学 先生



鹿児島県出身。1991 年宮崎医科大学（現宮崎大学医学部）を卒業後、自治医科大学地域医療学教室で研修され、2003 年より岐阜県揖斐郡北西部地域医療センターのセンター長として従事するとともに、地域で医療者を育てる先駆的な取組みを始められました。2015 年より母校の現職に着任され、地域基盤型医学教育において、多職種が一堂に会する『ごちゃまぜ IPE』研修や、実際に在宅医療の患者さんの家に一晚泊してもらう『お泊まり実習』や『置き去り実習』など、ユニークな取組みを実践しておられます。

プログラム：（12:00 受付開始）

13:00～13:15

開会、挨拶

13:15～14:15

基調講演 テーマ：求められる多職種協働・連携（仮題）

14:30～

グループワーク：ロールプレイによる事例検討

今後の地域包括ケアの推進に、「多職種連携」は欠かすことができません。医療・介護の専門職とともに行政・地域住民が協力して、地域の医療・保健・介護・福祉のシステムを構築することが求められています。「多職種連携」を啓発する活動として大変注目されているのが、今回お招きする吉村先生が始められた「ごちゃまぜ IPE」です。「ごちゃまぜ IPE」では、医療系・福祉系学生、様々な専門職が世代を超え、職種のバリアを越えて「ごちゃまぜ」になり「多職種連携」を学びます。この取り組みは最近では大変な広がりを見せ、様々な地域で実践されるようになってきました。

今回の研修会では、「多職種連携」の重要性と「ごちゃまぜ」の意義を学び、さらに、グループワーク・ロールプレイで「ごちゃまぜ IPE」を体験します。※ IPE=interprofessional education(多職種連携教育)

定員：60 名（事前登録制）、申し込み締め切り：7 月 13 日（金）

申し込み・お問い合わせ：（宛先：信州大学医学部地域医療推進学教室 中澤）

A：メールにて yuichi@shinshu-u.ac.jp まで

B：FAX にて 0263-37-2549

申込みの際には、①氏名、②所属（病院・施設名と職種あるいは学校名・学部・学年）③連絡先メールアドレス（携帯・スマホのアドレスでも構いませんが、可能であれば PC アドレスをお願いします）をお知らせください。